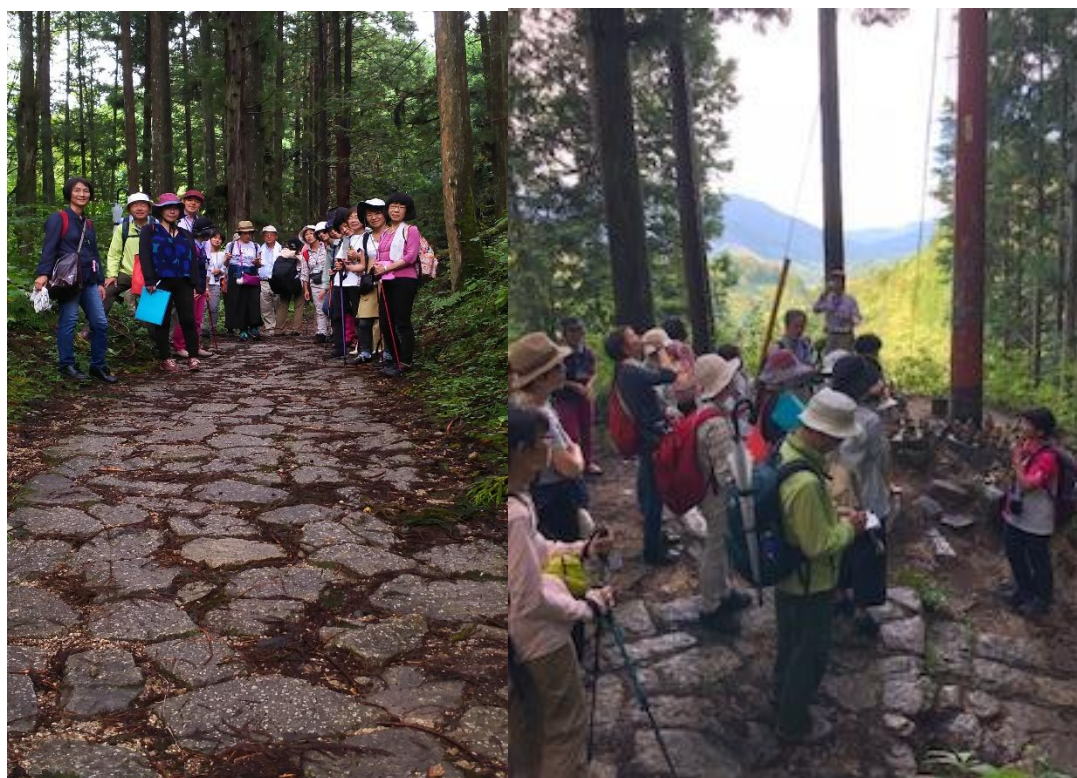


### 第三支部 【中山道研修】 2018年9月22日(土) 研修実施報告

参加者 21 名は雨が劇的に止んだ中津川駅前 10 時集合。周知の仲あり、中山道経験者もこの日初めて木曾路を踏む参加者も入り交じり、馬籠行第 3 バスレーンは大いに賑わう。

研修課題は中山道木曾路 11 宿の中でも際立って人気の高い馬籠から妻籠間を丁寧に歩き、その魅力の隅々まで味わうことによって通訳案内士業務の糧とすること。バス内でも通過地点 44 番目の宿場・落合宿を見逃すまいと参加諸氏の目が輝く。

馬籠に到着する一行を迎えたのは、馬籠きっての名宿・但馬屋さんのご主人原 壮太さん。木曾踊のうち“中乗りさん”が有名になり人気を博した木曾節を美声でご披露頂き、特別サービスで木曾踊りの手ほどきを受ける。中津川のくりきんとん、馬籠の五平餅や栗の焼き菓子に心を揺さぶられつつ、恵那山と天照大神伝説に思いを馳せながら木曾路を北に行く。



第一目標の一石栃白木改番所跡を目指し、前半は汗をかきかき馬籠峠の坂を上る。待つ、待つ結構しんどい。中山道を涼しい顔でご案内するには、もう少し日頃から歩きましょう。これしきで顎が上がっていたら中山道はおろか市内観光も務まりませんよ。杉と檜の見分け方やさらに紛らわしい檜と榎の違いを話すうちにランチタイム。ここでも妻籠を愛する会の藤原さんと鈴木さんが、遅いな！今か今かと JGA 研修到着を待ち構えてくださり、

鈴木さんをご自慢の喉で木曾節と長持唄を聴かせてくださった。何でも最近外国からの新婚さんのハネムーンが多いもので、日ごろから練習しとる、のだそうである。

藤原さんが「では妻籠でね」と手を振って先回りしてくださる間、妻籠から馬籠までを歩くツアーの東京一京都版と京都一東京版の話になる。選べるなら馬籠から妻籠に向かう方が、下りが多く歩きやすい。また馬籠峠までの登りがきつい向きにはバスで馬籠峠まで向かい、降りるだけのちゃっかりウォークも可能。体力に合わせて無理なく楽しめるのもこのコースの魅力である。妻籠の入り口では早春にカタクリの群生地となる場所でサフランが風に吹かれながら迎えてくれた。妻籠観光案内所では藤原さんが迎えてくださり、中山道の集客状況や伝統的建造物群保存地域に指定された妻籠宿についてお話くださる。バスに乗るカメさんチーム・完歩を目指すウサギさんチームに分かれてゴールの南木曾で笑顔がはじけた。聞き漏らした話がある！カメさんも若干あり、ウサギ講師は反省をして、次回は妻籠の丁寧な見学からスタートするから必ずまた参加してくださいねと話しているうちに家路に向かうための特急ワイドビューしなのがホームに滑り込んできた。いけない昨日約束していた南木曾観光タクシー社長の原さんのオフィスに行きそびれてしまった。大変すみません、社長！いやいやそれだけ案内に熱が入って大成功だったのだろう、また次回は是非にねと寛大にお許し頂いた。南木曾観光タクシー様には荷物配送サービスからウォーキング中の一人一人の丁寧なケアまでツアーでは日頃から大変お世話になっている。

中山道の皆様総出でJGA研修を実に暖かく楽しみにお迎え頂いた事に深く感謝する。

次回中山道研修は妻籠から木曾義仲をテーマに据えて北へと丁寧に歩く予定にしている。



(第三支部運営委員 須貝 由美子)

